

T20200127_01_MIPT

[Nokia](#) と Angola Cables、PSE-3 チップセットをトライアル

アンゴラケーブルズ(Angola Cables)は、米国とアフリカ間の初の直接光接続で Nokia の Photonic Service Engine 3 (PSE-3)をトライアルしている。



ルートは、低遅延大西洋横断直接経路であり、サービス立ち上げが著しく簡素化され、アフリカの急成長するデータ消費市場に貢献する。

海底光ファイバケーブルは、グローバルインターネットのバックボーンを形成し、広大な大洋横断距離で諸国や諸大陸を接続する。新サービスは、二つの海底ケーブルシステム SACS (South Atlantic Cable System) と MONET の相互接続を利用する。SACS は、Angola Cables が所有、管理しており、ブラジルのフォルタレザ、アンゴラのルアンダ間で運用し、AngoNAP Datacenter に接続されている。コンソーシアムが所有する MONET は、サントス/フォルタレザとフロリダ/USA とを接続する。

この共同トライアルで SACS と MONET 海底システムを統合すると、マイアミとルアンダ間に初めて 300 Gbps トラフィックが実現する。

低遅延ネットワーク接続は、クラウドコンピューティングやコンテンツ消費などのアプリケーションでパフォーマンス、ユーザエクスペリエンスを改善する。ITU によると、サブサハラアフリカは、過去 10 年で世界的インターネット利用の最高成長を記録し、2010 年に人口の 10%以下だったが、2019 年には 28%を超えた。増強された海底接続は、グローバルコンテンツへのアクセス、成長が続くユーザベースのサービスにとって極めて重要である。

海底波長は、PSE-3 を利用する Nokia の 1830 Photonic Service Interconnect (PSI) データセンタインタコネク(DCI)プラットフォームで展開される。1830 PSI は、信号を適切に成形する PCS を利用して 300 Gbps で光波長を 12,635 km ケーブルにプロビジョンし、システムの理論限界付近での動作を実現する。